

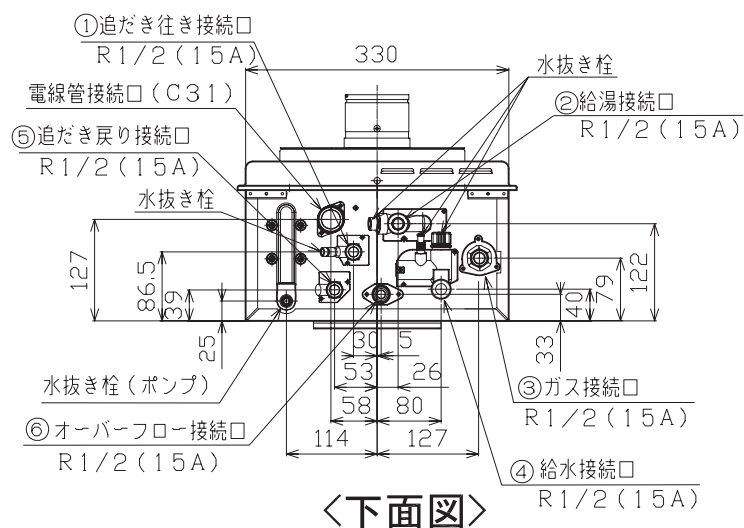
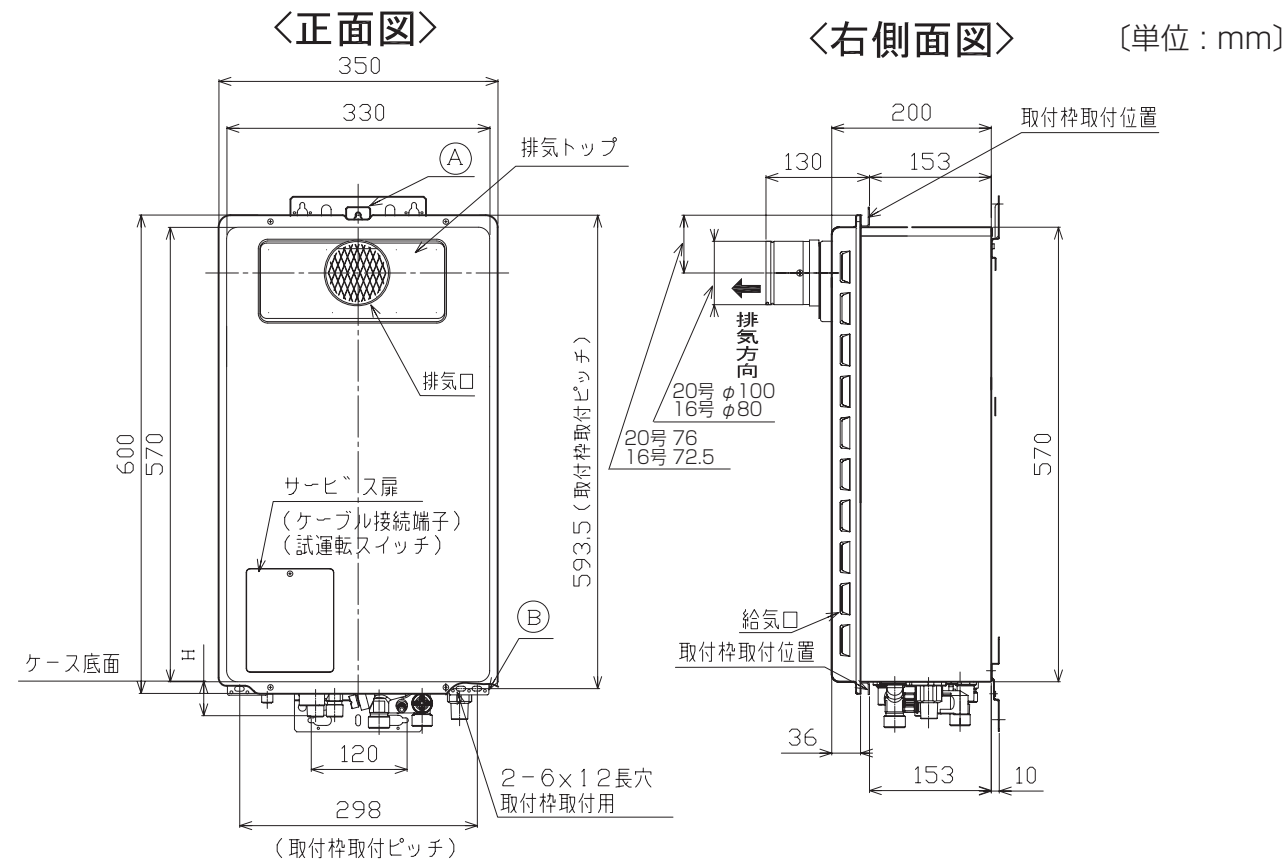
外形寸法図

National

- GJ-C20D4
- GJ-C16D4

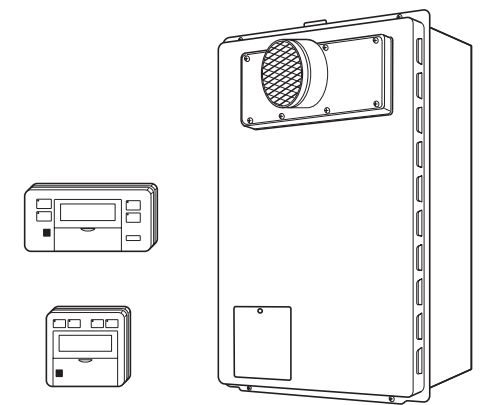
ガス給湯機付ふろがま (パイプシャフト扉内設置形)

- 品番 GJ-C20D4 (20号・自動タイプ)
GJ-C16D4 (16号・自動タイプ)



継手名	H寸法[mm]
① 追だき行き接続口	44
② 給湯接続口	58
③ ガス接続口	47
④ 給水接続口	56
⑤ 追だき戻り接続口	44
⑥ オーバーフロー接続口	26

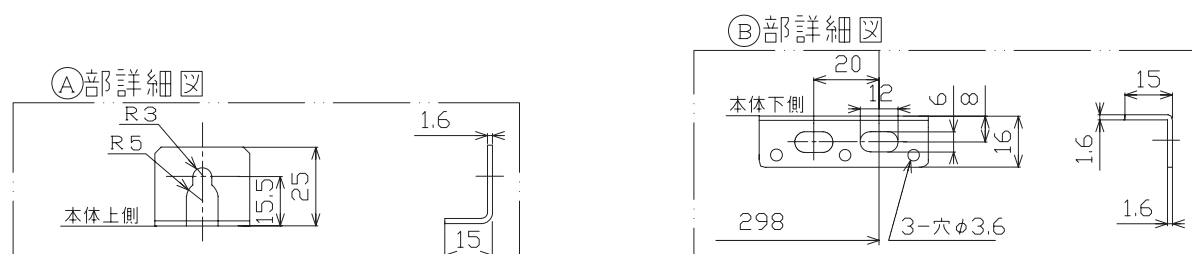
工事説明書 (折り込み)



もくじ	
	ページ
同梱部品の確認	2
機器の設置	2
通信ユニットの取付	5
電気配線工事	6
試点火および試運転	7
外形寸法図	裏表紙

* 工事される方へのお願い

別添付の工事説明書と内容の異なる項目を説明しています。この機器を正しく安全にご使用いただくために、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになって、工事を行ってください。

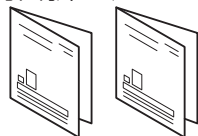


同梱部品の確認

●標準タイプに対して下記部品が追加、廃止されています。

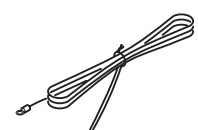
■追加部品

取扱説明書折り込み：1
工事説明書折り込み：1(本書)

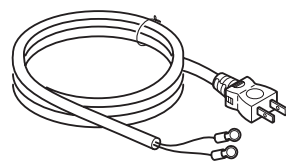


■廃止部品

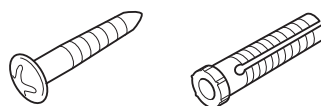
アース線：1個



電源ケーブル：1個



木ねじ：4本
カールプラグ：4個



機器の設置

■パイプシャフト内設置について

- パイプシャフトの前面扉内の上部および下部に各々100 mm²以上の開口部を設けてください。
- ガス機器の燃焼のために排気筒の断面積以上の給気口を前面扉に設けてください。
- パイプシャフトの設置は自治体により異なった規定を設けている場合があります。設置前に確認してください。
- 電源は原則として機器本体に直結とし、専用の電源ブレーカーを設けてください。やむをえず電源コンセントを設ける場合は、パイプシャフト内のできるだけ低い位置（200～300 mm）に設置してください。
- 電気メーターへの電気配線は硬質ビニルまたは電線管に納めてください。
- 機器の配線ケーブルはモール内に納めてください。
- パイプシャフト内および内壁面には、配線用ボックスを使用しないでください。ただし防爆構造を施したものは、この限りではありません。

機器の設置


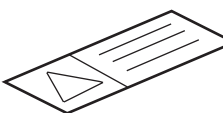
この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式の扉内設置用です。

- 機器の設置については、この折り込みと別添付の工事説明書をお読みになってから指定された工事を行ってください。
- 扉内設置用金枠（別売品）、扉内設置用取付枠（別売品）を使用し、取り付けてください。

扉内設置用金枠（別売品）	扉内設置用取付枠（別売品）
AD-G200C	AD-G211C-1

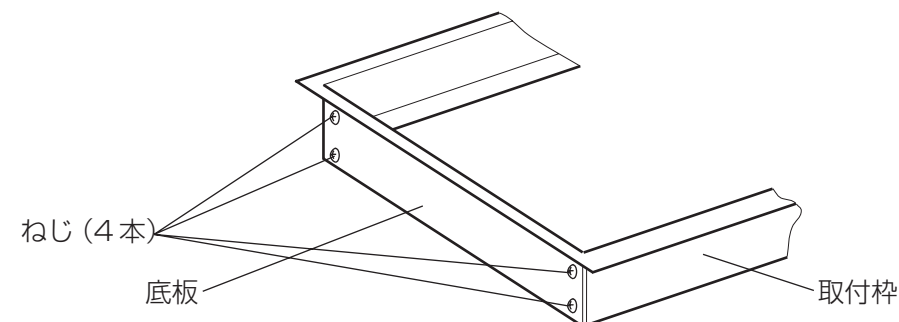
■開こん

下記の同梱部品を使用します。

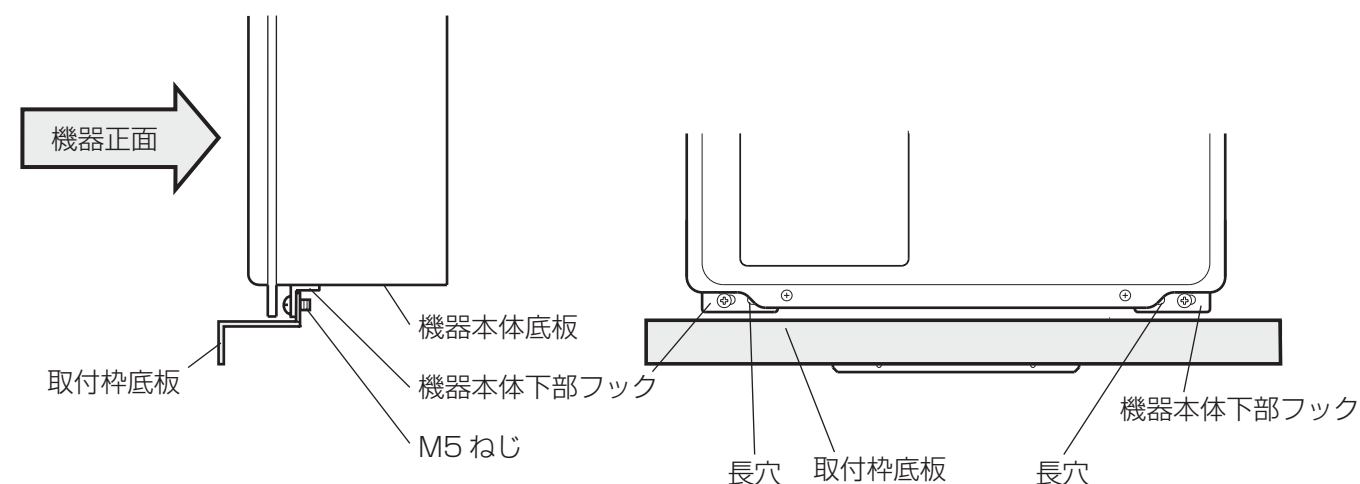
M5ねじ：4本 機器取り付け用	やけど注意ラベル：1枚
	

■取付手順

1. 扉内設置用取付枠の底板を取り外す（ねじ4本）

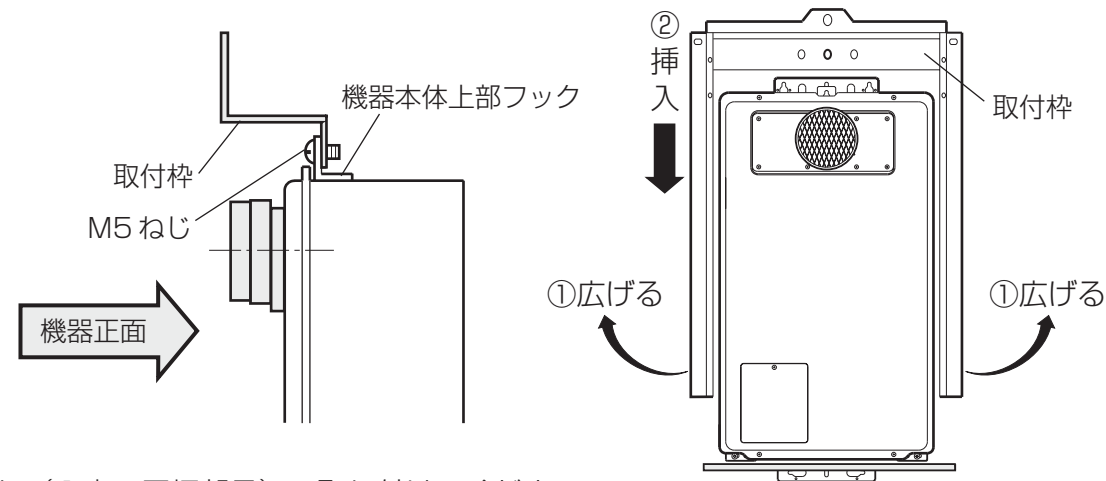


2. 扉内設置用取付枠の底板を機器本体下部のフックにM5ねじ（2本・同梱部品）で取り付ける
 - フックの長穴の外側を使用してください。（左右M5ねじ1本ずつ）

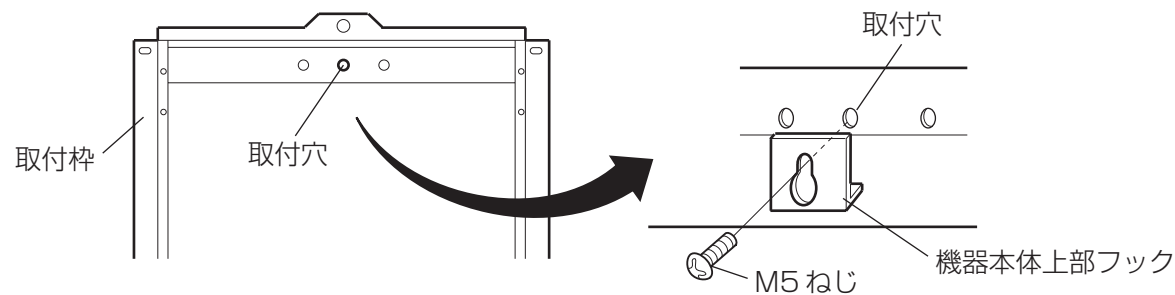


機器の設置

3. 扉内設置用取付枠を機器本体上部から差し込み機器本体上部フックをM5ねじ（同梱部品）で取り付ける
この時、扉内設置用取付枠下部を広げるようにして差し込んでください。



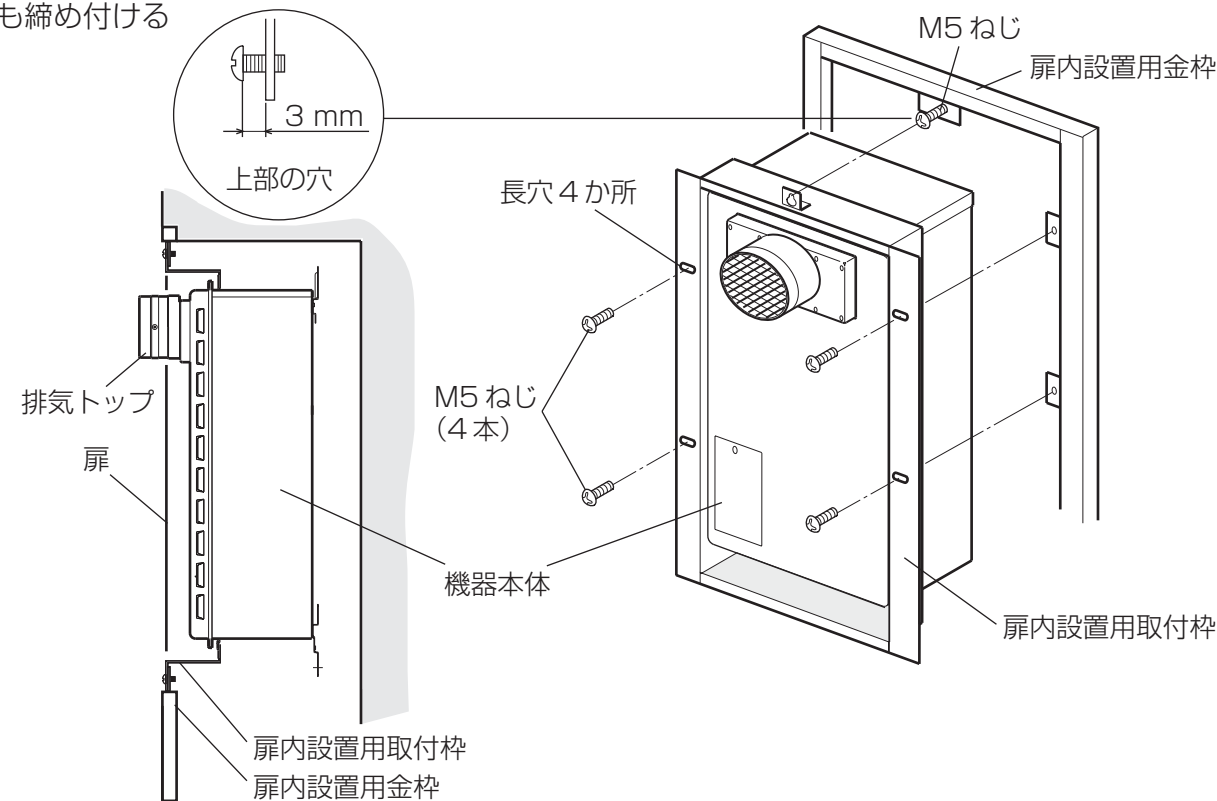
M5ねじ（1本・同梱部品）で取り付けてください。



4. 扉内設置用取付枠の底板を元どおりにねじ（4本）で締め付ける
5. 通信ユニットを取り付ける（コードレスリモコンをご使用になる場合のみ）（別添付の工事説明書参照）

■扉内設置用金枠への取り付け

1. 扉内設置用金枠上部のねじ穴にM5ねじ（1本）を3 mm程度浮かして取り付ける
2. 扉内設置用取付枠の上部の穴を1で扉内設置用金枠に取り付けたM5ねじに引っ掛ける
3. 扉内設置用取付枠の長穴と金枠のねじ穴をM5ねじ（4本）で締め付け、扉内設置用金枠上部のねじも締め付ける

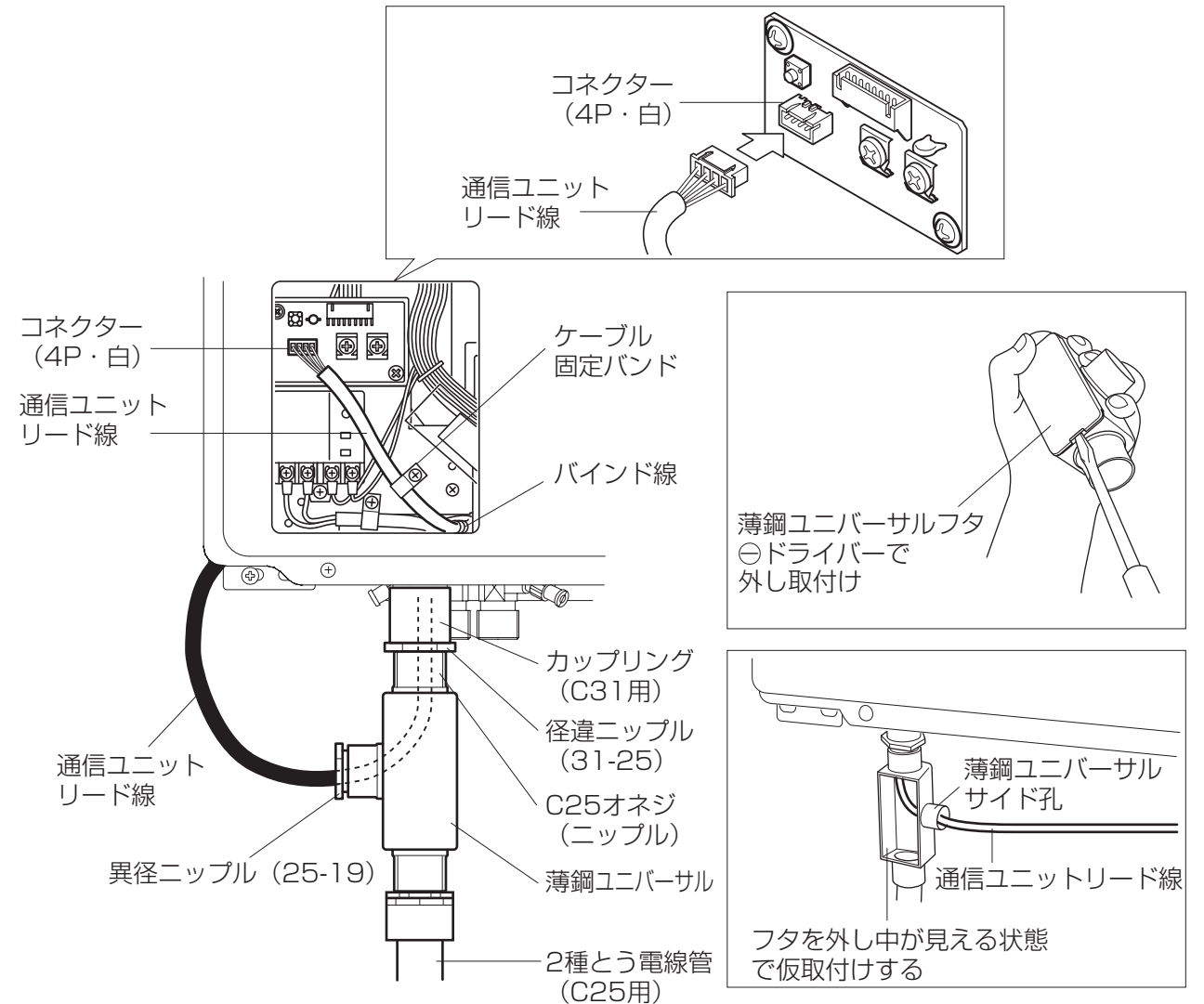


通信ユニットの取付 <コードレスリモコン>

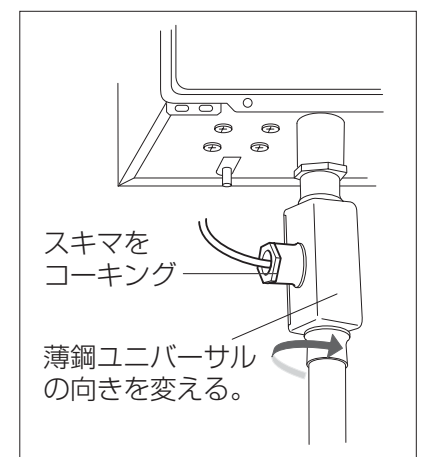
- 通信ユニットの取り付けは、別添付の工事説明書をご参照の上設置してください。

■パイプシャフト内電気配線（電線管）工事について

- パイプシャフト内で通信ユニットを機器に取り付ける際には、下記の要領で電気配線を行ってください。
- 薄鋼ユニバーサルは、事前にフタを⊖ドライバーで外した状態で仮取り付けすると、作業が容易です。

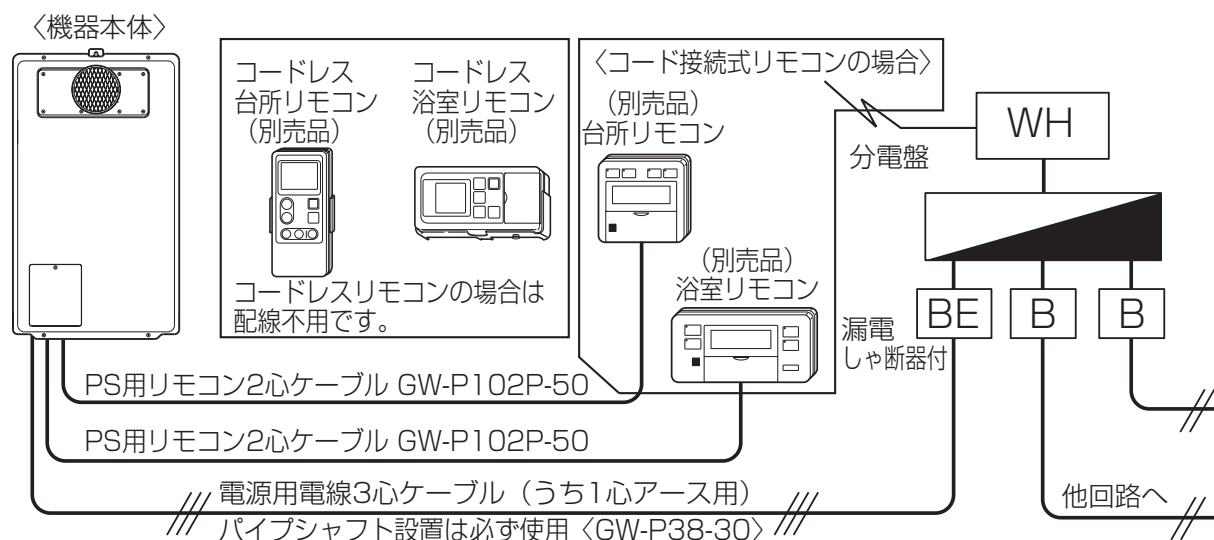


1. 通信ユニットのリード線を薄鋼ユニバーサルのサイドより電線管接続口を通して機器内に挿入する
2. 別添付の工事説明書に従って、通信ユニットのリード線を取り付ける
3. 通信ユニットのリード線の薄鋼ユニバーサル挿入部の隙間をコーキングして、シールする



電気配線工事

■標準工事



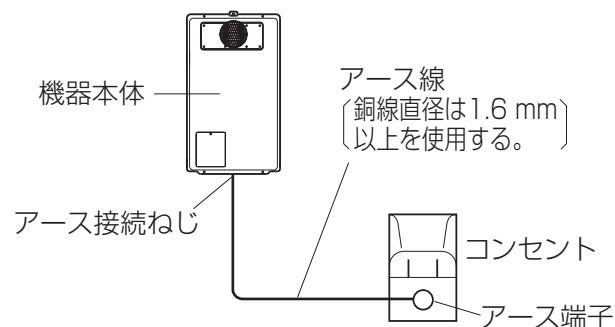
- 使用ケーブルについては別添の工事説明書を参照してください。
- パイプシャフト内に機器の電源電線の配線を行う場合には電気設備に関する技術基準を定める省令第208条の基準に準じた防爆工事を行ってください。
- この機器にはAC100V電源が必要です。またアース（接地）も必要ですから、下記の説明をご理解の上関連法規を遵守して施工してください。
関連法規：電気設備技術基準 ・ 電気工事士法 ・ 内線規定 ・ 電気用品取締法
- 電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。

■アース（接地）工事

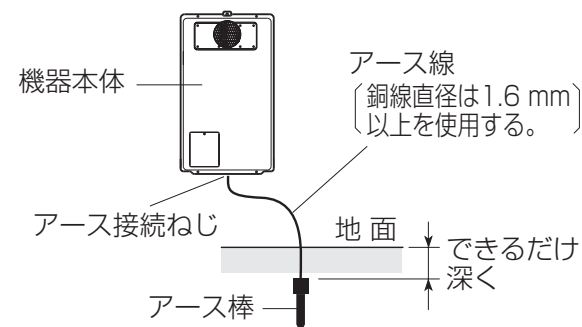
万一の感電事故防止のため、次のいずれかの方法で必ずアースしてください。

1. 分電盤内のアース端子へアース線を接続してください。（3心ケーブルの緑線使用）

- コンセントにアース端子が付いている場合



- アース棒を使用される場合



電気設備技術に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。

- 機器本体の底面にⓍ表示、また本体内部には、点火器固定板の中央部にⓍ表示で接続端子部を示してありますので、工事に合わせていずれかをご利用ください。

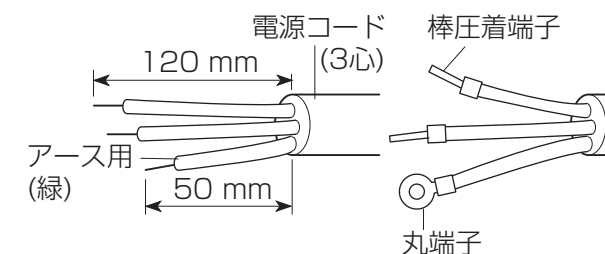
〔お願い〕

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路または漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。（法令などで禁止されています。）
- アース端子付コンセントを利用される場合には、接地抵抗値（100Ω以下）をご確認ください。

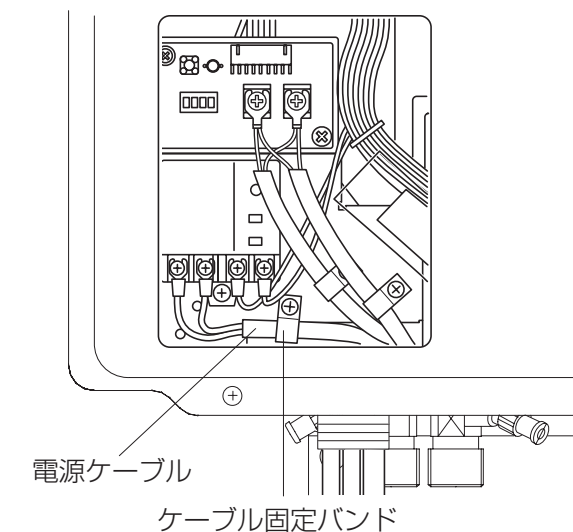
■電源接続工事（3心ケーブルの場合）

電源ケーブルは、PS用電源ケーブルGW-P38-30（別売品）をご使用ください。

1. 電源ケーブルを右図のように絶縁被覆をはぎとり、心線を出す
2. 電源ケーブルのAC100V用心線（黒、白）に同梱の棒圧着端子をかしめる。
アース用心線（緑）に同梱の丸端子をかしめる



※配線完了後、機器本体のフロントカバー下部のサービス扉を取り付けてください。（ねじ1本）



試点火および試運転

■試点火および試運転

1. ガス配管中の空気抜き
ガス配管中の空気が抜けるまで火がつきません。給湯栓を「15秒間開く」「3秒間閉じる」操作をバーナーに火がつくまで繰り返してください。
2. 取扱説明書に基づき、試点火および試運転を行ってください。
（詳しくは、取扱説明書の「初めてお使いになるとき」「使いかた」をお読みください。）
3. 初期運転時に異常が発生しましたら、取扱説明書の「故障かな？」を参照しながら確かめてください。
4. 試運転が終わりましたら、凍結予防のため、水抜きを必ず行ってください。水抜きを忘れた場合は機器が破損することがあります。
5. 初期運転時、フロントカバーを外して点火させた場合、着火音・燃焼音が大きくなる場合がありますが異常ではありません。